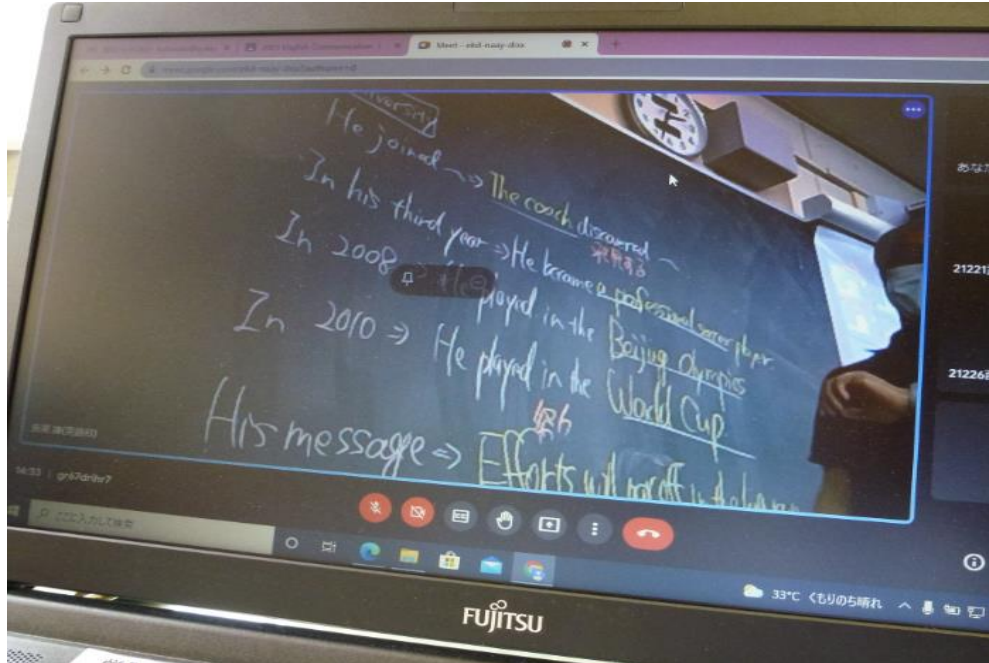




赤穂生の風景(校長ブログ)

2学期が始まりました。(人流抑制を目指した対面授業とオンライン授業の組み合わせ)



赤穂高校では8月19日(木)より2学期が始まりました。

ご承知の通り、長野県内全域に新型コロナウイルス感染警戒レベル5が発令されています。学校では2学期の始業にあたり、夏期休業中の人流増加による感染拡大が懸念されています。

本校ではこのような状況を踏まえ、2学期当初について対面授業とオンライン授業を組み合わせた授業を行っています。

8月19日(木)の始業式は、豪雨による飯田線の運休区間の状況やコロナ禍に係る人流抑制を考慮しオンラインで行い、生徒の皆さんは自宅で視聴をしてもらいました。

8月20日(金)は午前・午後に分かれて生徒の皆さんが登校し、各HRで今後の予定や授業形態等についての説明を行い、併せてオンラインの接続確認等を実施しました。

そして8月23日(月)からは、通常の時間割に従い、対面授業とオンライン授業を組み合わせた授業を始めました。出席番号の奇数・偶数のグループを基本とし、隔日登校により登校生徒数を約半数に抑えながら授業を行っています。例えば1日目は奇数の生徒が登校し対面授業、偶数の生徒は自宅でオンライン授業、2日目はその逆という仕組みです。生徒の皆さんは、オンラインを併用した新たな授業のスタイルにも概ね順応してくれていると感じています。

Google ClassroomやGoogle Meetを活用したオンライン授業や課題配信は、先生方の工夫により日々充実した内容になっています。本校では昨年度から先生方がICT活用について研究を進め、今年度は夏期休業中にも研修の機会を設けています。今回のようなコロナ禍の対応をはじめ、豪雨等の自然災害時の臨時休校等にも対応が可能と考えているところです。

2学期が始まりましたが、生徒の皆さんの安心・安全を第一に考え、人流増加によるさらなる感染拡大を防ぎ、コロナ禍においても学びを保障していくことが重要と考えております。

今後とも保護者の皆様を始め、関係の皆様のご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。